

昭和39年10月15日

発行……吉原市役所  
吉原市今泉43の1(電②3111)  
編集……市長公室

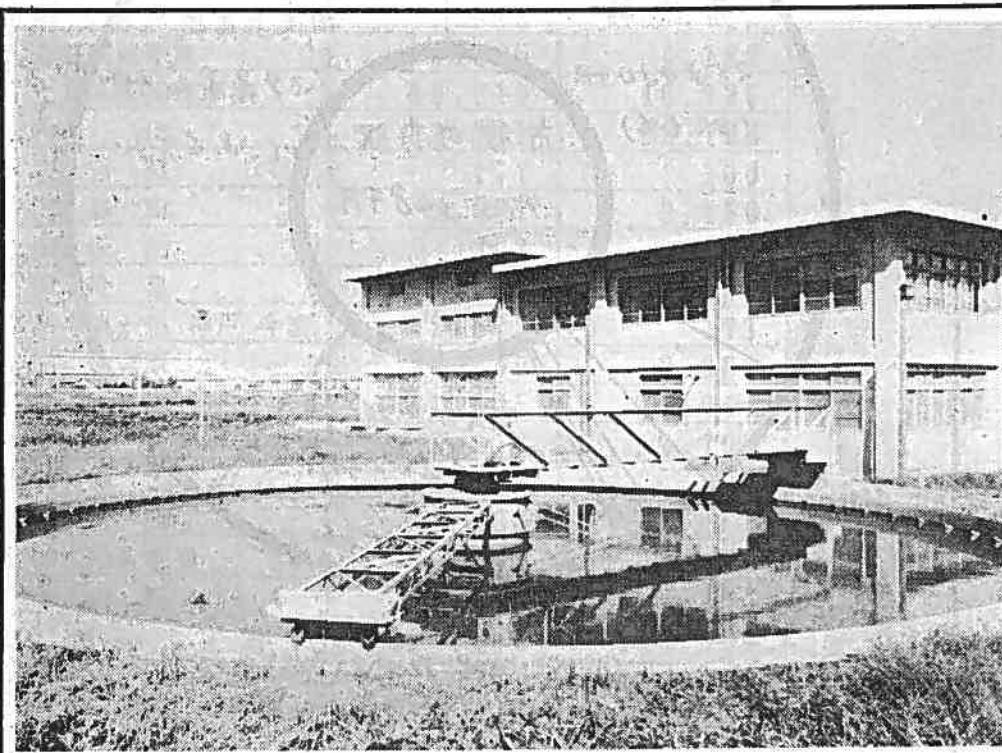
# 広報 よしわら

市民の動き

(9月30日現在)

男女	44,173
計	43,393
世帯数	87,506

世帯数…19,098



操業へ一步近づいた下水道終末処理場

(日産南側)

## 9月定例議会 終末処理場事業費追加

八年度の一般、特別の両会計の認定、今年度の下水道終末処理施設整備事業費の追加、東中学校の新築、昭和幼稚園の増築など当局提出の三十議案を審議し、いざれも原案どおり可決しました。また同議案中、任期満了とともに教育委員の選任では、齊藤市長から望月正己氏(64)がもとめられ、満場一致で承認されました。

## 一億五千万円(会計一般)補正 30議案原案どおり可決

吉原市議会九月定例議会は、九月二十一、二十九の兩日開かれ、昭和三十八年度の決算認定にあたり、齊藤市長は一年間の市の動向をつぎのよう説明しました。

三十八年度会計は、前年に引き続きいぜん意氣があがらない日本経済の動向が大きく地方自治体の経渃に影響し、カソフル注射的な政府の公共投資も特定地域にかたより、当地域の経済には好影響を望むことができませんでした。それに

東駿河湾工業整備特別地域の指定をうけて、高度の開發を進める当市にとっては極めて大きな痛手であります。しかしこのような悪条件下にありました財源の確保にあたっては、あらゆる努力をはらい、年度全般を通じては概ね執行にあつた。

加え地方税法の改正で、電気ガス税がまた一歩減税と

なり財源は苦しさを増し、

東駿河湾工業整備特別地域の指定をうけて、高度の開

発を進める当市にとっては極めて大きな痛手であります。

しかしこのような悪条件

下にありました財源の確

保にあたつては、あらゆる

千萬円の増額をみることが

できました。また三十八年度は、当市

五ヵ年建設計画の第四年度

まで、計画事業の執行に

つきましては、できるだけこ

とに予算計上された東中学校の新築問題では、議員と

当局間で「教育的な立場で

主なもので、なかでも教育

費六百万円、議会費二百万円が

五百円、農業費三千百円、農

林水産業費一千九百万円、

総務費六百万円、衛生費三

百万円、議会費二百万円が

五百円、農業費三千百円、農

林水産業費一千